

参考・調査票

1. 民間団体調査票

「バリアフリー化の推進に係る民間団体と地方公共団体との連携に関する調査」アンケート調査票

調査主体：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付
調査実施委託先：株式会社富士総合研究所 社会経済グループ
（平成16年10月1日より「みずほ情報総研株式会社」へ改称）

< 貴団体名、ご回答される方のご氏名等をご記入ください >

ふりがな 貴団体名			
所在地	〒		
電話番号		F A X 番号	
ホームページ アドレス	http://		
ご回答者の部 署・役職			
ご回答者名		Eメール アドレス	

- ・ バリアフリーとは、施設における段差の解消等のハード面での整備のみならず、情報提供や意識啓発活動等のソフト面での取り組み等も含むものとします。また、ユニバーサルデザインやアクセシビリティ等の考え方に基づく取り組みも含むものとします。
- ・ 協働とは、本調査票における問17に示すような事項を指します。

貴団体の基本属性についておたずねします。

問1 貴団体の組織形態は下欄に示す選択肢のうち、どれに近いですか？（はいくつでも）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. NPO法人 | 2. 自治会 |
| 3. 商店街 | 4. 大学研究者・専門職等による研究会 |
| 5. その他有志で構成される団体・組織 | |
| 6. その他（ | ） |

問2 貴団体がバリアフリー化の推進に関する活動を始めた時期をおたずねします。（数字をご記入ください）

（昭和・平成）

年頃から

問3 貴団体の地理的な活動範囲は次のうちどれですか？（ は1つ）

1 . 1つの市区町村の区域内のみ	2 . 複数の市区町村にまたがる地域
3 . 1つの都道府県の全域	4 . 複数の都道府県にまたがる地域
5 . 国内全域	6 . 国内及び海外
7 . その他（具体的に：	）

問4 貴団体の財政規模（年間の総支出額）についてお教えてください。（ は1つ）

1 . 10万円未満	2 . 10万円以上30万円未満
3 . 30万円以上50万円未満	4 . 50万円以上100万円未満
5 . 100万円以上500万円未満	6 . 500万円以上1,000万円未満
7 . 1,000万円以上5,000万円未満	8 . 5,000万円以上

問5 貴団体が取り組んでいるバリアフリー化の推進に関する活動では、活動の対象は主に誰ですか？（ はいくつでも）

1 . 視覚障害者	2 . 肢体不自由者	3 . 聴覚・言語障害者
4 . 内部障害者	5 . 知的障害者	6 . 精神障害者
7 . 障害児	8 . 高齢者	9 . 乳幼児を連れた世帯
10 . 妊婦	11 . 外国人	12 . その他（具体的に：
		）

問6 貴団体のメンバーには、どのような職業の方が多くいますか？（ は3つまで）

1 . 貴団体の専属スタッフ	2 . 会社員
3 . 公務員・団体職員・教育機関勤務	4 . 自営業
5 . 医療機関・福祉施設等職員	6 . パート・アルバイト
7 . 家事従業者（主婦等）	8 . 学生
9 . 無職	10 . その他（具体的に：
	）

問7 貴団体に所属する構成員（有給・無給を問わず、貴団体の運営及び活動に日常的に参加されている人。以下（1）から（3）において同様）についておたずねします。なお、複数の障害を持つ方（例：視覚障害者でかつ内部障害者である方）については、いずれの項目に対しても人数が含まれるようにご回答ください。

（1）貴団体に所属する構成員の人数（数字をご記入ください）

貴団体に所属する構成員全員の人数	人
------------------	---

（2）貴団体の構成員のうち、障害者・障害児の人数について下表に示す項目ごとにお教えください（数字をご記入ください）

障害者・児の人数	人
うち身体障害者・児の人数	人
うち視覚障害者・児の人数	人
うち肢体不自由者・児の人数	人
うち聴覚・言語障害者・児の人数	人
うち内部障害者・児（ ）の人数	人
うち知的障害者・児の人数	人
うち精神障害者・児の人数	人

：内部障害者・児は、心臓、腎臓、呼吸器等に障害を持つ方としてご回答ください。

（3）貴団体の構成員のうち、高齢者・児童の人数について下表に示す項目ごとにお教えください（数字をご記入ください）

高齢者の人数	人
児童の人数	人

注：高齢者は65歳以上の年齢の方としてご回答ください

児童は18歳未満の年齢の方としてご回答ください

問8 貴団体は下欄に示す情報発信を行っていますか？（はいいくつでも）

1．新聞、雑誌、テレビ等のマスコミ情報の提供	2．ホームページ
3．機関紙やメールマガジンの発行	4．民間団体間や地域住民との交流会等への参加
5．学会における研究論文の発表	6．行政等の広報への寄稿
7．その他（具体的に：	）

貴団体におけるバリアフリー化の推進に関する活動内容についておたずねします。

問9 貴団体で取り組んでいるバリアフリー化の推進に関する活動分野についておたずねします。(はいいくつでも)

1. まちづくり	2. 住宅	3. 交通	4. 教育・文化
5. 情報・製品	6. 観光	7. その他(具体的に:)

問10 貴団体で取り組んでいるバリアフリー化の推進に関する活動について代表的な活動を下表に従い具体的にご回答ください。なお、地方公共団体と協働した活動がありましたら優先的にご回答ください。(回答用表にご記入ください)

*** 協働とは、P9「問17」の設問に示すような内容のものがああります。**

回答用表 [事例 1]

活動分野(はいいくつでも)	1. まちづくり	2. 住宅	3. 交通	4. 教育・文化
	5. 情報・製品	6. 観光	7. その他()
活動内容				
地方公共団体との協働の有無(はいひとつ)	1. あり(内容:) 2. なし			
活動における成功点・反省点				

<次ページに続く>

回答用表 [事例 2]

活動分野(はいくつでも)	1.まちづくり 5.情報・製品	2.住宅 6.観光	3.交通 7.その他()	4.教育・文化
活動内容				
地方公共団体との協働の有無(はひとつ)	1.あり(内容:) 2.なし			
活動における成功点・反省点				

回答用表 [事例 3]

活動分野(はいくつでも)	1.まちづくり 5.情報・製品	2.住宅 6.観光	3.交通 7.その他()	4.教育・文化
活動内容				
地方公共団体との協働の有無(はひとつ)	1.あり(内容:) 2.なし			
活動における成功点・反省点				

<次ページに続く>

回答用表 [事例]

活動分野(はいく つでも)	1 .まちづくり 5 .情報・製品	2 .住宅 6 .観光	3 .交通 7 .その他 ()	4 .教育・文化
活動内容				
地方公共団体との 協働の有無 (はひとつ)	1 .あり(内容 :) 2 .なし			
活動における 成功点・反省点				

回答用表 [事例]

活動分野(はいく つでも)	1 .まちづくり 5 .情報・製品	2 .住宅 6 .観光	3 .交通 7 .その他 ()	4 .教育・文化
活動内容				
地方公共団体との 協働の有無 (はひとつ)	1 .あり(内容 :) 2 .なし			
活動における 成功点・反省点				

問11 貴団体は、バリアフリー化の推進に関してどのような団体と交流や情報交換をしていますか？(はいくつでも)

1. 都道府県	2. 市区町村	3. 障害者団体
4. NPO	5. 自治会	6. 学校、病院、介護施設等
7. 商店街	8. 民間企業	9. 専門家(建築士・研究者等)
10. 社会福祉協議会	11. 特になし	12. その他(具体的に:)

問12 貴団体が、バリアフリー化の推進に関する活動を行うことになったきっかけは何ですか？(ご自由にご記入ください)

問13 バリアフリー化の推進に関する活動を行う上で工夫している点があれば、お教えてください。(ご自由にご記入ください)

問14 バリアフリー化の推進に関する活動を行う上での問題点があれば、お教えてください。なお、地方公共団体との協働に関する問題点については問22でご回答ください。（ご自由にご記入ください）

問15 貴団体では、今後、バリアフリー化の推進に関する活動分野について、どのようなことに取り組んでいきたいとお考えですか？（ご自由にご記入ください）

問18 貴団体がバリアフリー化の推進に関し地方公共団体と協働するメリットは何ですか？(はいいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 貴団体の活動機会が増える又は活動内容が充実する |
| 2. 貴団体の活動に対する地域住民の認知度が上がる |
| 3. 貴団体単独による事業よりも労力や費用負担が軽減できる |
| 4. 貴団体だけでは提供できない住民のニーズに合ったサービスを提供できる |
| 5. 貴団体の活動に必要な各種情報が入手しやすくなる |
| 6. 地方公共団体との人のつながりが構築できる |
| 7. 貴団体と地方公共団体との対等なパートナーシップを築ける |
| 8. 貴団体の基盤強化、経営の安定につながる |
| 9. わからない |
| 10. その他(具体的に: _____) |
| 11. 特になし |

問19 これまで貴団体が進めてきたバリアフリー化の推進に関する地方公共団体との協働事業に対して満足していますか？(は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. かなり満足している | 2. ある程度満足している |
| 3. どちらでもない | 4. あまり満足していない |
| 5. まったく満足していない | 6. わからない |

問20 貴団体が、平成15年度に取り組んだバリアフリー化の推進に関する協働について、地方公共団体からの財政的支出はどの程度でしたか？(は回答用表の各欄に1つずつ)

回答用表

項目	金額の番号 記入欄(は各欄に1つずつ)							
補助金・助成金	1	2	3	4	5	6	7	8
事業委託費	1	2	3	4	5	6	7	8
その他 (_____)	1	2	3	4	5	6	7	8
合計	1	2	3	4	5	6	7	8



問20の選択肢

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 財政的支出は受けていない | 2. 1万円以上10万円未満 |
| 3. 10万円以上50万円未満 | 4. 50万円以上100万円未満 |
| 5. 100万円以上500万円未満 | 6. 500万円以上1,000万円未満 |
| 7. 1,000万円以上5,000万円未満 | 8. 5,000万円以上 |

問21 これまで貴団体では、バリアフリー化の推進に関して地方公共団体と協働したいが、できなかったことはありますか？（ は1つ）

1. ある

2. ない

問21で「1. ある」に 印を記入された方は、問21-1をご回答ください。

問21で「2. ない」に 印を記入された方は、問21-1は回答せず、問22をご回答ください。

問21-1 何故協働したいが、できなかったのかお教えてください。（ はいくつでも）

1. 地方公共団体で協働事業に関する制度やルールの整備が不十分だから
2. バリアフリー化の推進に関する施策・制度の公開・広報活動が不十分だから
3. 貴団体からの働きかけに地方公共団体が応じないから
4. 地方公共団体に貴団体に対する理解がないから
5. 地方公共団体に協働事業に対する理解がないから
6. 貴団体が地方公共団体の設ける協働事業のための基準を満たしていないから
7. 貴団体に専門的な知識が不足しているから
8. 貴団体が継続的に活動する自信がないから
9. 貴団体に協働事業の実績がなかったから
10. 協働するための手段（方法）がわからないから
11. その他（具体的に： _____）

問22 バリアフリー化の推進に関する地方公共団体との協働を行う上での問題点があれば、お教えてください。（ ご自由にご記入ください）

問23 バリアフリー化の推進に関する地方公共団体との協働を行うにあたり、貴団体に対してどのようなことが地方公共団体から期待されていると思いますか？（ は3つまで）

1. 企画力の向上
2. 人材の育成
3. 専門知識やノウハウの蓄積
4. 行政の制度やルールなどへの理解
5. 社会情勢等を踏まえた適正かつ客観的な判断力
6. 他団体・地域住民とのネットワーク
7. 法人格の取得
8. 団体の経営基盤の強化
9. 貴団体やその人材に対する社会的信頼性の向上
10. 貴団体に関する情報公開
11. その他（具体的に： _____）
12. 特になし

問24 今後、バリアフリー化の推進に関する地方公共団体との協働事業を行うとしたら、地方公共団体に対して特にどのようなことを求めますか？（ は3つまで）

- 1．協働事業に関する制度やルールを整備する
- 2．バリアフリー化の推進に関する施策・制度の公開、広報活動を行う
- 3．協働事業を積極的に実施する行政姿勢を向上させる
- 4．貴団体に対する認識を深める
- 5．貴団体との対等なパートナーシップをつくる
- 6．協働事業の実施に当たり十分意見交換する
- 7．貴団体への十分な物の提供・支援を行う
- 8．貴団体への活動の場の提供・支援を行う
- 9．貴団体への十分な人員派遣や労力提供を行う
- 10．貴団体への十分な資金援助を行う
- 11．貴団体メンバーの能力向上への支援（研修等）を行う
- 12．その他（具体的に： _____）
- 13．特に求めることはない

問25 貴団体では、今後、バリアフリー化の推進に関する地方公共団体との協働についてどのようにお考えですか？（ は1つ）

- 1．実施したい
- 2．実施したいと思わない
- 3．分からない

問26 今後行いたいバリアフリー化の推進に関する地方公共団体との協働の分野（まちづくり、住宅、交通、教育・文化、情報・製品、観光、その他）や具体的内容をお教えてください。（ご自由にご記入ください）

問27 その他、バリアフリー化の推進に関する活動や、地方公共団体との協働についてご意見等がありましたら、ご回答ください。（ご自由にご記入ください）

質問は以上で終わりです。ご協力頂きまして誠にありがとうございました。

問2 貴市区町村では、バリアフリー化の推進に関し、どのような組織（体制）で取り組んでいますか。（該当するものをつけてください。は1つ）

- | |
|---|
| 1. バリアフリー化の推進に関し、中心的な役割を果たす（異なる分野（福祉、都市計画、市民活動等）にわたる企画調整等）部署がある
（部署名： _____） |
| 2. バリアフリー化の推進に関し、中心的な役割を果たす部署はないが、連絡会議等を <u>定期的</u> に開催し、連携を図っている |
| 3. バリアフリー化の推進に関し、中心的な役割を果たす部署はないが、連絡会議等を <u>不定期</u> に開催し、連携を図っている |
| 4. バリアフリー化の推進に関し、特に連携等は図っていない |
| 5. その他（ _____） |

問3 貴市区町村では、バリアフリー化が政策上の重要課題となっていますか。（該当するものをつけてください。は1つ）

- | |
|--------------------------|
| 1. なっている（問3 - 1、問3 - 2へ） |
| 2. なっていない（問4へ） |

1に をつけた方	P. 2 問3 - 1、問3 - 2へお進みください。
2に をつけた方	P. 3 問4へお進みください。

問3 - 1 バリアフリー化が重要課題となっている場合、どのような用語を主に用いていますか。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. バリアフリー | 2. ユニバーサルデザイン |
| 3. アクセシブル | 4. ノーマライゼーション |
| 5. インクルージョン | |
| 6. その他(具体的に: _____) | |

問3 - 2 バリアフリー化が重要課題となっている場合、主にどのような分野を中心に、バリアフリー化を進めていますか（進める予定ですか）。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. まちづくり | 2. 公的施設 |
| 3. 住宅 | 4. 交通 |
| 5. 教育・文化 | 6. 情報・製品 |
| 7. 観光 | 8. 分野横断的・総合的 |
| 9. その他（ _____） | |

< ご回答後は、問4へお進みください。 >

・貴市区町村で活動する「バリアフリー化の推進に係る民間団体」について、お聞きします。

問4 貴市区町村で活動する「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の有無について、お聞きします。（該当するものに をつけてください。 は1つ）

- | |
|--------------------------|
| 1. 該当する民間団体がある（ 問5へ） |
| 2. 該当するような民間団体はない（ 問15へ） |
| 3. わからない（ 問15へ） |

- | | | |
|----------|------|--------------|
| 1に をつけた方 | P. 3 | 問5へお進みください。 |
| 2に をつけた方 | P. 9 | 問15へお進みください。 |
| 3に をつけた方 | P. 9 | 問15へお進みください。 |

問5 貴市区町村で活動する「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の活動分野についてお聞きします。（該当するものに をつけてください。 はいくつでも）

- | | |
|--------------|----------|
| 1. まちづくり | 2. 住宅 |
| 3. 交通 | 4. 教育・文化 |
| 5. 情報・製品 | 6. 観光 |
| 7. その他（具体的に： | ） |

・貴市区町村において活動している「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と貴市区町村との協働事業についてお聞きします。

問6 貴市区町村で活動する「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との間において、協働事業を行っていますか。

*協働とは、P 8「問12」の設問に示すような内容のものがあります。

- | |
|-------------------|
| 1. 行っている |
| 2. 行っていないが、検討している |
| 3. 行っていない |

問7 貴市区町村内で活動する「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の活動内容等について、お聞きします。可能な範囲で結構ですので代表的な「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の活動事例（5～6事例程度）について下欄に具体的にご記入ください。

なお、貴市区町村で活動する「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との間に協働事業を行っている場合は、当該協働のある事例を（代表的なもの）を優先的にご記入ください。

*「組織・団体の特徴」欄には、その組織・団体の性格（NPO、自治会等）及び構成員の属性の特徴等をご記入ください。

民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者	
組織・団体の特徴	
活動分野（はいくつでも）	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動内容	
貴市区町村との協働の有無（はひとつ）	1.あり(内容:) 2.なし
民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者	
組織・団体の特徴	
活動分野（はいくつでも）	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動内容	
貴市区町村との協働の有無（はひとつ）	1.あり(内容:) 2.なし

民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1 . まちづくり 2 . 住宅 3 . 交通 4 . 教育・文化 5 . 情報・製品 6 . 観光 7 . その他 ()
活動内容	
貴市区町村との協働の有無 (はひとつ)	1 . あり(内容:) 2 . なし
民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1 . まちづくり 2 . 住宅 3 . 交通 4 . 教育・文化 5 . 情報・製品 6 . 観光 7 . その他 ()
活動内容	
貴市区町村との協働の有無 (はひとつ)	1 . あり(内容:) 2 . なし

民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいく つでも)	1. まちづくり 2. 住宅 3. 交通 4. 教育・文化 5. 情報・製品 6. 観光 7. その他 (具体的に:)
活動内容	
貴市区町村との協 働の有無 (はひとつ)	1. あり(内容:) 2. なし
民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいく つでも)	1. まちづくり 2. 住宅 3. 交通 4. 教育・文化 5. 情報・製品 6. 観光 7. その他 ()
活動内容	
貴市区町村との協 働の有無 (はひとつ)	1. あり(内容:) 2. なし

(P . 3) 問 6 で、協働事業を「 1 . 行っている」に をつけた方は、以下問 8 ~ 問 13 にご回答ください。協働事業を「 2 . 行っていないが、検討している」又は「 3 . 行っていない」に をつけた方は問 14 にお進みください。

なお、問 8 から問 13 の回答に際し、協働を行っている民間団体が複数ある場合は、最も代表的と思われる民間団体を 1 つお選びいただき、それを対象としてご回答ください。

問 8 貴市区町村では、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との間で、定期的に情報交換会等を行っていますか。(該当するものに をつけてください。 は 1 つ)

- 1 . 民間団体と定期的に情報交換会等の会合を開催している
- 2 . 特に定期的な会合等は開催していないが、民間団体の構成員等と日頃から情報交換を行っている
- 3 . その他(具体的に :)
- 4 . 特に行っていない

問 9 貴市区町村では、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」について、どのような方法で情報収集を行っていますか。(該当するものに をつけてください。 は 3 つまで)

- 1 . 新聞、雑誌、テレビ等のマスコミ情報
- 2 . ホームページ
- 3 . 民間団体の発行する機関紙・メールマガジン
- 4 . 民間団体の事業報告書や収支計算書
- 5 . 民間団体へのヒアリングやアンケート
- 6 . 他都道府県、市区町村からの情報
- 7 . 地域住民からの情報入手
- 8 . 障害者団体等の団体からの情報
- 9 . 有識者からの情報入手
- 10 . その他(具体的に :)

問 10 「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と貴市区町村とが協働事業を始めた理由について、お聞きします。(該当するものに をつけてください。 は 3 つまで)

- 1 . 行政だけで事業を行うよりも経費を削減できるため
- 2 . 従来、行政が実施してきた事業を民間団体に開放したため
- 3 . 民間団体や住民から協働事業を実施するよう要望があったため
- 4 . 行政が対応してこなかったあるいは対応が困難であった公益的事業を実施していく必要があったため
- 5 . 民間団体のアイデアや先駆的活動を市区町村の事業に取り入れたため
- 6 . 協働事業ができるような活動を行う民間団体が新規に創設されたため
- 7 . その他(具体的に :)

問11 (「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との協働事業に関し)協働事業のパートナーとして民間団体を選択する際に重視したことはどのようなことでしたか。(該当するものにをつけてください。は3つまで)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 法人格を取得していること | 2. 団体の経営が健全であること |
| 3. 団体の活動に継続性が見込めること | 4. 活動内容に社会性や公益性があること |
| 5. 活動内容が先進的で創造性に富んでいること | 6. 団体やその人材に社会的信頼性があること |
| 7. 地方公共団体との協働事業の実績があること | 8. 専門知識やノウハウを蓄積していること |
| 9. 行政の制度やルールに対する理解があること | |
| 10. 他団体・地域住民等とのネットワークがあること | |
| 11. 団体に関する情報が公開されていること | |
| 12. その他 (具体的に: _____) | |

問12 貴市区町村における「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と貴市区町村との協働事業の実施形態についてお聞きます。(該当するものにをつけてください。はいくつでも)

問12 - 1 また、協働事業の実施形態が「3. 事業共催」、「4. 事業委託」の場合には、その事業内容に該当するものを問12 - 1の選択肢欄から選択しご回答ください。(回答は該当する番号をご記入ください。番号は5つまで)

問12 該当するものにをつけてください(はいくつでも)	問12 - 1の回答欄										
1. 市区町村の事業の企画・立案等への民間団体の参加・協力 2. 市区町村の事業活動への民間団体の参加・協力 (ボランティア派遣、施設運営等) 3. 市区町村と民間団体との事業共催 (つけた場合には、右欄に下欄より該当番号を選び記入) 4. 市区町村から民間団体への事業委託 (つけた場合には、右欄に下欄より該当番号を選び記入) 5. 市区町村から民間団体への物の提供・支援 6. 市区町村から民間団体への活動の場の提供・支援 7. 市区町村から民間団体への人員派遣や労力提供 8. 市区町村から民間団体への資金援助 9. その他(具体的に: _____)	<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>番号記入</p> </div>										

- | | |
|---------------|---------------------|
| 問12 - 1の選択肢 | 事業内容(下欄から該当する番号を記入) |
| 1. イベントの実施・支援 | 2. 専門的な相談事業 |
| 3. 機器等の貸し出し | 4. ヘルパー・ガイド等の実施 |
| 5. 調査研究 | 6. 人材育成・研修の実施 |
| 7. 情報誌・刊行物の作成 | 8. その他 |

問13 貴市区町村において、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との協働事業を実施した際の成功点、反省点及びその要因と思われる点をご記入ください。（回答は下欄にご自由にご記入ください。）

(成功点)
(反省点)

問14 <「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との間で協働事業を実施していない方にお聞きします。協働事業を実施している場合は、問15へお進みください>

貴市区町村において、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と協働事業を実施していないのはなぜですか。（該当するものに をつけてください。 はいくつでも）

1. 民間団体との協働事業を行う上で制度上の問題があるため （具体的に： _____）
2. 民間団体との協働になじむ事業がないため
3. 民間団体に関する情報が不足しているため
4. 民間団体の事業実施能力や組織運営状況が不十分であるため
5. 民間団体以外に協働実績のある組織が存在しているため （具体的に： _____）
6. 協働事業のパートナーとなる民間団体がないため
7. その他（具体的に： _____）
8. わからない

. 今後に向けた「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との協働の方向性についてお聞きします。

問15 貴市区町村では、（協働事業を行うかどうかは別にして）社会のバリアフリー化の推進のためには、今後「バリアフリー化の推進に係る民間団体」が必要だと思いますか。（該当するものに をつけてください。 は1つ）

1. 是非とも必要（ 問15 - 1へ）
2. やや必要（ 問15 - 1へ）
3. 必要ではない（ 問15 - 2へ）
4. その他（ 問16へ）

1に をつけた方	P . 10	問15 - 1へお進みください。
2に をつけた方	P . 10	問15 - 1へお進みください。
3に をつけた方	P . 10	問15 - 2へお進みください。
4に をつけた方	P . 10	問 16 へお進みください。

問15 - 1 貴市区町村において、今後「バリアフリー化の推進に係る民間団体」が必要だと思う理由は何ですか。（該当するものに をつけてください。 はいくつでも）

- 1．行政だけでは限界が生じる分野・事業についてサービスが提供されるため
- 2．住民のニーズをよりの確に反映したサービスが提供されるため
- 3．民間団体の方がサービスの受け手に受け入れやすいため
- 4．住民の地域活動への自発的な参加を促すことができるため
- 5．地域経済の活性化や雇用の促進につながるため
- 6．市区町村が事業を行う際に、受け皿（事業主体等）となることができるため
- 7．その他（具体的に： _____）

問15 - 2 問15において、「3．必要ではない」と回答した理由についてご回答ください。（回答は下欄にご自由にご記入ください。）

< ご回答後は、問16へお進みください。 >

問16 貴市区町村では、今後「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と協働を拡大又は新規に実施していきたいと思いませんか。（ と のいずれかの回答欄にご回答ください。 は1つ）

既に協働している場合

- 1．協働を拡大したい（ 問16 - 1、問16 - 2、問16 - 3へ）
- 2．特に拡大する必要性を感じない（現状維持）（ 問17へ）
- 3．協働を縮小したい（ 問17へ）
- 4．その他（具体的に： _____）（ 問17へ）

協働していない場合

- 1．今後協働を実施していきたい（ 問16 - 1、問16 - 2、問16 - 3へ）
- 2．協働を実施する必要性を感じない（ 問17へ）
- 3．その他（具体的に： _____）（ 問17へ）


・ で1に をつけた方 問16 - 1、問16 - 2、問16 - 3へお進みください。
それ以外の方 問17へお進みください。

問16 - 1 貴市区町村において、今後「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と協働していきたいと思う理由は何ですか。（該当するものに をつけてください。 はいくつでも）

- 1．行政だけで事業を行うよりも経費を削減できるため
- 2．行政だけでは限界が生じる分野・事項において事業が実施できるため
- 3．住民のニーズをよりの確に反映した事業が実施できるため
- 4．住民の地域活動への自発的な参加を促すことができるため
- 5．行政と民間団体とのパートナーシップを築くため
- 6．地域経済の活性化や雇用の促進につながるため
- 7．その他（具体的に： _____）

問16 - 2 貴市区町村では今後、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との協働事業を拡大又は新規に事業を実施するとした場合、どのような実施形態で取り組んでいきたいと思いませんか。（該当するものに をつけてください。 はいいくつでも）

問16 - 3 また、取り組んでいきたい実施形態が「3 . 事業共催」、「4 . 事業委託」の場合には、活動していきたい事業内容に該当するものを問16 - 3の選択肢欄から選択しご回答ください。（回答は該当する番号をご記入ください。番号は5つまで）

問16-2 該当するものに をつけてください(はいいくつでも)	問16 - 3の回答欄										
1 . 市区町村の事業の企画・立案等への民間団体の参加・協力 2 . 市区町村の事業活動への民間団体の参加・協力 (ボランティア派遣、施設運営等) 3 . 市区町村と民間団体との事業共催 (つけた場合には、右欄に下欄より該当番号を選び記入) 4 . 市区町村から民間団体への事業委託 (つけた場合には、右欄に下欄より該当番号を選び記入) 5 . 市区町村から民間団体への物の提供・支援 6 . 市区町村から民間団体への活動の場の提供・支援 7 . 市区町村から民間団体への人員派遣や労力提供 8 . 市区町村から民間団体への資金援助 9 . その他 (具体的に：) 10 . 特になし	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>番号記入</p> </div>										

問16 - 3の選択肢	事業内容 (下欄から該当する番号を記入)
1 . イベントの実施・支援	2 . 専門的な相談事業
3 . 機器等の貸し出し	4 . ヘルパー・ガイド等の実施
5 . 調査研究	6 . 人材育成・研修の実施
7 . 情報誌・刊行物の作成	8 . その他

問17 今後、よりよい協働事業を実施するために、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」に対して期待することは何ですか。（該当するものに をつけてください。 は3つまで）

1 . 企画力の向上	2 . 人材の育成
3 . 専門知識やノウハウの蓄積	4 . 行政の制度やルールなどへの理解
5 . 社会情勢等を踏まえた適正かつ客観的な判断力	
6 . 他団体・地域住民等とのネットワーク	
7 . 法人格の取得	
8 . 団体の経営基盤の強化	
9 . 団体やその人材に対する社会的信頼性の向上	
10 . 団体に関する情報公開	
11 . その他 (具体的に：)	
12 . 特になし	

問18 今後、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」とよりよい協働事業を実施するために、貴市区町村としてどのようなことが必要だとお考えですか。（該当するものにつけてください。 は3つまで）

- 1．協働事業に関する制度やルールを整備する
- 2．バリアフリー化の推進に関する施策・制度の公開、広報活動を行う
- 3．協働事業を積極的に実施する行政姿勢を向上させる
- 4．民間団体に対する認識を深める
- 5．民間団体との対等なパートナーシップをつくる
- 6．協働事業の実施に当たり民間団体と十分意見交換する
- 7．民間団体への十分な物の提供・支援を行う
- 8．民間団体への活動の場の提供・支援を行う
- 9．民間団体への十分な人員派遣や労力提供を行う
- 10．民間団体への十分な資金援助を行う
- 11．民間団体メンバーの能力向上への支援（研修等）を行う
- 12．その他（具体的に： _____）
- 13．特になし

．その他

問19 その他「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の活動や、民間団体との協働についてご意見等がありましたら、ご回答ください。（回答は下欄にご自由にご記入ください。）

<ご協力いただき、誠にありがとうございました>

3. 地方公共団体調査票（都道府県）

「バリアフリー化の推進に係る民間団体と地方公共団体との連携に関する調査」（都道府県：調査票）

調査主体：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付
 調査実施委託先：株式会社富士総合研究所 社会経済グループ
 （平成16年10月1日より「みずほ情報総研株式会社」へ改称）

< ご回答なされる方のご所属等をご記入ください >

貴都道府県名	都道府県
主たるご回答者のご所属等	部署名
	氏名 役職
	電話番号： (内線)
	F A X 番号：

- ・バリアフリーとは、施設における段差の解消等のハード面での整備のみならず、情報提供や意識啓発活動等のソフト面での取り組み等も含むものとします。また、ユニバーサルデザインやアクセシビリティ等の考え方に基づく取り組みも含むものとします。
- ・「バリアフリー化の推進に係る民間団体」とは、何らかの形で、社会におけるバリアフリー化の推進を行っている団体のことをいいます。
- ・民間団体とは、行政組織や民間企業を除くNPO等の団体・組織をいいます。具体的には以下のような団体・組織を含むものとします。
 NPO、自治会、商店街、大学研究者・専門職等による研究会、その他有志で構成される団体・組織等

・貴都道府県におけるバリアフリー化の推進に向けた施策等についてお聞きします。

問1 貴都道府県では、バリアフリー化の推進に関する内容を中心的な内容とする、条例・指針等を策定していますか。（該当するものに をつけてください。 は1つ）

1. 現在バリアフリー化の推進等を中心的な内容とする条例・指針等を策定している
 （名称： ）
2. 現在は策定していないが、今後策定する予定がある
3. 策定していない
4. その他（ ）

問2 貴都道府県では、バリアフリー化の推進に関し、どのような組織(体制)で取り組んでいますか。(該当するものをつけてください。は1つ)

- | |
|---|
| 1. バリアフリー化の推進に関し、中心的な役割を果たす(異なる分野(福祉、都市計画、市民活動等)にわたる企画調整等)部署がある
(部署名: _____) |
| 6. バリアフリー化の推進に関し、中心的役割を果たす部署はないが、連絡会議等を定期的に開催し、連携を図っている |
| 7. バリアフリー化の推進に関し、中心的役割を果たす部署はないが、連絡会議等を不定期に開催し、連携を図っている |
| 8. バリアフリー化の推進に関し、特に連携等は図っていない |
| 9. その他(_____) |

問3 貴都道府県では、バリアフリー化が政策上の重要課題となっていますか。

(該当するものをつけてください。は1つ)

- | |
|----------------------|
| 1. なっている(問3-1、問3-2へ) |
| 2. なっていない(問4へ) |

問3-1 バリアフリー化が重要課題となっている場合、どのような用語を主に用いていますか。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. バリアフリー | 2. ユニバーサルデザイン |
| 3. アクセシブル | 4. ノーマライゼーション |
| 5. インクルージョン | |
| 6. その他(具体的に: _____) | |

問3-2 バリアフリー化が重要課題となっている場合、どのような分野を中心に、バリアフリー化を進めていますか(進める予定ですか)。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. まちづくり | 2. 公的施設 |
| 3. 住宅 | 4. 交通 |
| 5. 教育・文化 | 6. 情報・製品 |
| 7. 観光 | 8. 分野横断的・総合的 |
| 9. その他(_____) | |

・貴都道府県内において活動している「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と貴都道府県との協働事業についてお聞きします。

問4 貴都道府県で活動する「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との間において、協働事業を行っていますか。

*協働とは、P7「問10」の設問に示すような内容のものがあります。

- | |
|-------------------|
| 1. 行っている |
| 2. 行っていないが、検討している |
| 3. 行っていない |

問5 貴都道府県内で活動する「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の活動内容等について、お聞きします。可能な範囲で結構ですので、下欄の条件にあう代表的な「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の活動内容（5～6事例程度）について、下欄に具体的にご記入ください。

- | |
|--|
| ・貴都道府県と協働している「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の事例 |
| ・貴都道府県の複数の市区町村圏域をまたがって活動している「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の事例 |

なお、貴都道府県で活動する「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との間に協働事業を行っている場合は、当該協働のある事例を（代表的なもの）を優先的にご記入ください。

*「組織・団体の特徴」欄には、その組織・団体の性格（NPO、自治会等）及び構成員の属性の特徴等をご記入ください。

民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者名	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動内容	
貴都道府県との協働の有無 (は1つ)	1.あり(内容:) 2.なし
民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者名	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動内容	
貴都道府県との協働の有無 (は1つ)	1.あり(内容:) 2.なし

(次ページに続く)

民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者名	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動内容	
貴都道府県との 協働の有無 (はいつ)	1.あり(内容:) 2.なし
民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者名	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動内容	
貴都道府県との 協働の有無 (はいつ)	1.あり(内容:) 2.なし

民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者名	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動内容	
貴都道府県との 協働の有無 (は1つ)	1.あり(内容:) 2.なし
民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
代表者名	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動内容	
貴都道府県との 協働の有無 (は1つ)	1.あり(内容:) 2.なし

(P . 2) 問 4 で、協働事業を「 1 . 行っている」に つけた方は、以下問 6 ~ 問 11 にご回答ください。協働事業を「 2 . 行っていないが、検討している」又は「 3 . 行っていない」に つけた方は問 12 にお進みください。

なお、問 6 から問 11 の回答に際し、協働を行っている民間団体が複数ある場合は、最も代表的と思われる民間団体を 1 つお選びいただき、それを対象としてご回答ください。

問 6 貴都道府県では、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との間で、定期的に情報交換会等を行っていますか。(該当するものに つけてください。 は 1 つ)

- 1 . 民間団体と定期的に情報交換会等の会合を開催している
- 2 . 特に定期的な会合等は開催していないが、民間団体の構成員等と日頃から情報交換を行っている
- 3 . その他 ()
- 4 . 特に行っていない

問 7 貴都道府県では、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」について、どのような方法で情報収集を行っていますか。(該当するものに つけてください。 は 3 つまで)

- 1 . 新聞、雑誌、テレビ等のマスコミ情報
- 2 . ホームページ
- 3 . 民間団体の発行する機関紙・メールマガジン
- 4 . 民間団体の事業報告書や収支計算書
- 5 . 民間団体へのヒアリングやアンケート
- 6 . 他都道府県、市区町村からの情報
- 7 . 地域住民からの情報入手
- 8 . 障害者団体等の団体からの情報
- 9 . 有識者からの情報入手
- 10 . その他 (具体的に :)

問 8 「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と都道府県とが協働事業を始めた理由について、お聞きします。(該当するものに つけてください。 は 3 つまで)

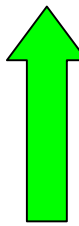
- 1 . 行政だけで事業を行うよりも経費を削減できるため
- 2 . 従来、行政が実施してきた事業を民間団体に開放したため
- 3 . 民間団体や住民から協働事業を実施するよう要望があったため
- 4 . 行政が対応してこなかったあるいは対応が困難であった公益的事業を実施していく必要があったため
- 5 . 民間団体のアイデアや先駆的活動を都道府県の事業に取り入れたため
- 6 . 協働事業ができるような活動を行う民間団体が新規に創設されたため
- 7 . その他 (具体的に :)

問9 (「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との協働事業に関し)協働事業のパートナーとして民間団体を選択する際に重視したことはどのようなことでしたか。(該当するものにをつけてください。は3つまで)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 法人格を取得していること | 2. 団体の経営が健全であること |
| 3. 団体の活動に継続性が見込めること | 4. 活動内容に社会性や公益性があること |
| 5. 活動内容が先進的で創造性に富んでいること | 6. 団体やその人材に社会的信頼性があること |
| 7. 地方公共団体との協働事業の実績があること | 8. 専門知識やノウハウを蓄積していること |
| 9. 行政の制度やルールに対する理解があること | |
| 10. 他団体・地域住民等とのネットワークがあること | |
| 11. 団体に関する情報が公開されていること | |
| 12. その他 (具体的に: _____) | |

問10 貴都道府県における「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と貴都道府県との協働事業の実施形態についてお聞きします。(該当するものにをつけてください。はいくつでも)

問10-1 また、協働事業の実施形態が「3. 事業共催」、「4. 事業委託」の場合には、その事業内容に該当するものを問10-1の選択肢欄から選択しご回答ください。(回答は該当する番号をご記入ください。番号は5つまで)

問10 該当するものにをつけてください(はいくつでも)	問10-1の回答欄												
1. 都道府県の事業の企画・立案等への民間団体の参加・協力 2. 都道府県の事業活動への民間団体の参加・協力 (ボランティア派遣、施設運営等) 3. 都道府県と民間団体との事業共催 (つけた場合には、右欄に下欄より該当番号を選び記入) 4. 都道府県から民間団体への事業委託 (つけた場合には、右欄に下欄より該当番号を選び記入) 5. 都道府県から民間団体への物の提供・支援 6. 都道府県から民間団体への活動の場の提供・支援 7. 都道府県から民間団体への人員派遣や労力提供 8. 都道府県から民間団体への資金援助 9. その他(具体的に: _____)	<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>番号記入</p> </div>												

問10-1の選択肢	事業内容(下欄から該当する番号を記入)
1. イベントの実施・支援	2. 専門的な相談事業
3. 機器等の貸し出し	4. ヘルパー・ガイド等の実施
5. 調査研究	6. 人材育成・研修の実施
7. 情報誌・刊行物の作成	8. その他

問11 貴都道府県において、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との協働事業を実施した際の成功点、反省点及びその要因と思われる点をご回答ください。（回答は下欄にご自由にご記入ください。）

(成功点)
(反省点)

問12 <「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との間で協働事業を実施していない方にお聞きします。協働事業を実施している場合は、問13へお進みください>

貴都道府県において、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と協働事業を実施していないのはなぜですか。（該当するものに をつけてください。 はいくつでも）

1. 民間団体との協働事業を行う上で制度上の問題があるため (具体的に：)
2. 民間団体との協働になじむ事業がないため
3. 民間団体に関する情報が不足しているため
4. 民間団体の事業実施能力や組織運営状況が不十分であるため
5. 民間団体以外に協働実績のある組織が存在しているため (具体的に：)
6. 協働事業のパートナーとなる民間団体がないため
7. その他(具体的に：)
8. わからない

. 今後に向けた「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との協働の方向性についてお聞きします。

問13 貴都道府県では、(協働事業を行うかどうかは別にして)社会のバリアフリー化の推進のためには、今後「バリアフリー化の推進に係る民間団体」が必要だと思いますか。（該当するものに をつけてください。 は1つ）

1. 是非とも必要(問13 - 1へ)
2. やや必要(問13 - 1へ)
3. 必要ではない(問13 - 2へ)
4. その他(問14へ)

1に をつけた方	P.9 問13 - 1へお進みください。
2に をつけた方	P.9 問13 - 1へお進みください。
3に をつけた方	P.9 問13 - 2へお進みください。
4に をつけた方	P.9 問14へお進みください。

問13 - 1 貴都道府県において、今後「バリアフリー化の推進に係る民間団体」が必要だと思う理由は何ですか。（該当するものにつけてください。はいくつでも）

- 1．行政だけでは限界が生じる分野・事業についてサービスが提供されるため
- 2．住民のニーズをよりの確に反映したサービスが提供されるため
- 3．民間団体の方がサービスの受け手に受け入れやすいため
- 4．住民の地域活動への自発的な参加を促すことができるため
- 5．地域経済の活性化や雇用の促進につながるため
- 6．都道府県や市区町村が事業を行う際に、受け皿（事業主体等）となることができるため
- 7．その他（具体的に： _____）

問13 - 2 問13において、「3．必要ではない」と回答した理由についてご回答ください。（回答は下欄にご自由にご記入ください。）

< ご回答後は、問14へお進みください。 >

問14 貴都道府県では、今後「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と協働を拡大又は新規に実施していきたいと思いませんか。（と のいずれかの回答欄にご回答ください。は1つ）

既に協働している場合

- 1．協働を拡大したい（問14 - 1、問14 - 2、問14 - 3へ）
- 2．特に拡大する必要性を感じない（現状維持）（問15へ）
- 3．協働を縮小したい（問15へ）
- 4．その他（具体的に： _____）（問15へ）

協働していない場合

- 1．今後、協働を実施していきたい（問14 - 1、問14 - 2、問14 - 3へ）
- 2．協働を実施する必要性を感じない（問15へ）
- 3．その他（具体的に： _____）（問15へ）

・ で1に つけた方 問14 - 1、問14 - 2、問14 - 3へお進みください。
それ以外の方 問15へお進みください。

問14 - 1 貴都道府県において、今後「バリアフリー化の推進に係る民間団体」と協働していきたいと思う理由は何ですか。（該当するものにつけてください。はいくつでも）

- 1．行政だけで事業を行うよりも経費を削減できるため
- 2．行政だけでは限界が生じる分野・事項において事業が実施できるため
- 3．住民のニーズをよりの確に反映した事業が実施できるため
- 4．住民の地域活動への自発的な参加を促すことができるため
- 5．行政と民間団体とのパートナーシップを築くため
- 6．地域経済の活性化や雇用の促進につながるため
- 7．その他（具体的に： _____）

問14 - 2 貴都道府県では今後、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」との協働事業拡大又は新規に事業を実施するとした場合、どのような実施形態で取り組んでいきたいと思いませんか。（該当するものに をつけてください。 はいくつでも）

問14 - 3 また、取り組んでいきたい実施形態が「3 . 事業共催」、「4 . 事業委託」の場合には、活動していきたい事業内容に該当するものを問14 - 3の選択肢欄から選択しご回答ください。（回答は該当する番号をご回答ください。番号は5つまで）

問14-2 該当するものに をつけてください(はいくつでも)	問14 - 3の回答欄										
1 . 都道府県の事業の企画・立案等への民間団体の参加・協力 2 . 都道府県の事業活動への民間団体の参加・協力 (ボランティア派遣、施設運営等) 3 . 都道府県と民間団体との事業共催 (つけた場合には、右欄に下欄より該当番号を選び記入) 4 . 都道府県から民間団体への事業委託 (つけた場合には、右欄に下欄より該当番号を選び記入) 5 . 都道府県から民間団体への物の提供・支援 6 . 都道府県から民間団体への活動の場の提供・支援 7 . 都道府県から民間団体への人員派遣や労力提供 8 . 都道府県から民間団体への資金援助 9 . その他 (具体的に：) 10 . 特になし	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 番号記入 </div>										

問14 - 3の選択肢	事業内容 (下欄から該当する番号を記入)
1 . イベントの実施・支援	2 . 専門的な相談事業
3 . 各種の機器等の貸し出し	4 . ヘルパー・ガイド等の実施
5 . 調査研究	6 . 人材育成・研修の実施
7 . 情報誌・刊行物の作成	8 . その他

問15 今後、よりよい協働事業を実施するために、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」に対して期待することは何ですか。（該当するものに をつけてください。 は3つまで）

1 . 企画力の向上	2 . 人材の育成
3 . 専門知識やノウハウの蓄積	4 . 行政の制度やルールなどへの理解
5 . 社会情勢等を踏まえた適正かつ客観的な判断力	
6 . 他団体・地域住民等とのネットワーク	
7 . 法人格の取得	
8 . 団体の経営基盤の強化	
9 . 団体やその人材に対する社会的信頼性の向上	
10 . 団体に関する情報公開	
11 . その他 (具体的に：)	
12 . 特になし	

問16 今後、「バリアフリー化の推進に係る民間団体」とよりよい協働事業を実施するために、貴都道府県としてどのようなことが必要だとお考えですか。（該当するものをつけてください。 は3つまで）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 協働事業に関する制度やルールを整備する 2. バリアフリー化の推進に関する施策・制度の公開、広報活動を行う 3. 協働事業を積極的に実施する行政姿勢を向上させる 4. 民間団体に対する認識を深める 5. 民間団体との対等なパートナーシップをつくる 6. 協働事業の実施に当たり民間団体と十分意見交換する 7. 民間団体への十分な物の提供・支援を行う 8. 民間団体への活動の場の提供・支援を行う 9. 民間団体への十分な人員派遣や労力提供を行う 10. 民間団体への十分な資金援助を行う 11. 民間団体メンバーの能力向上への支援（研修等）を行う 12. その他（具体的に： _____） 13. 特になし |
|--|

・貴都道府県内の市区町村で活動している「バリアフリー化の推進に係る民間団体」についてお聞きします。

問17 貴都道府県内の市区町村において活動している「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の先進的な活動事例や、市区町村との先進的な協働事例について、貴都道府県で把握しているものがあれば具体的にご記入ください。なお、多数の場合は代表的なものについてご記入ください。

* 問5で記入していただいた事例は除いてご記入ください。

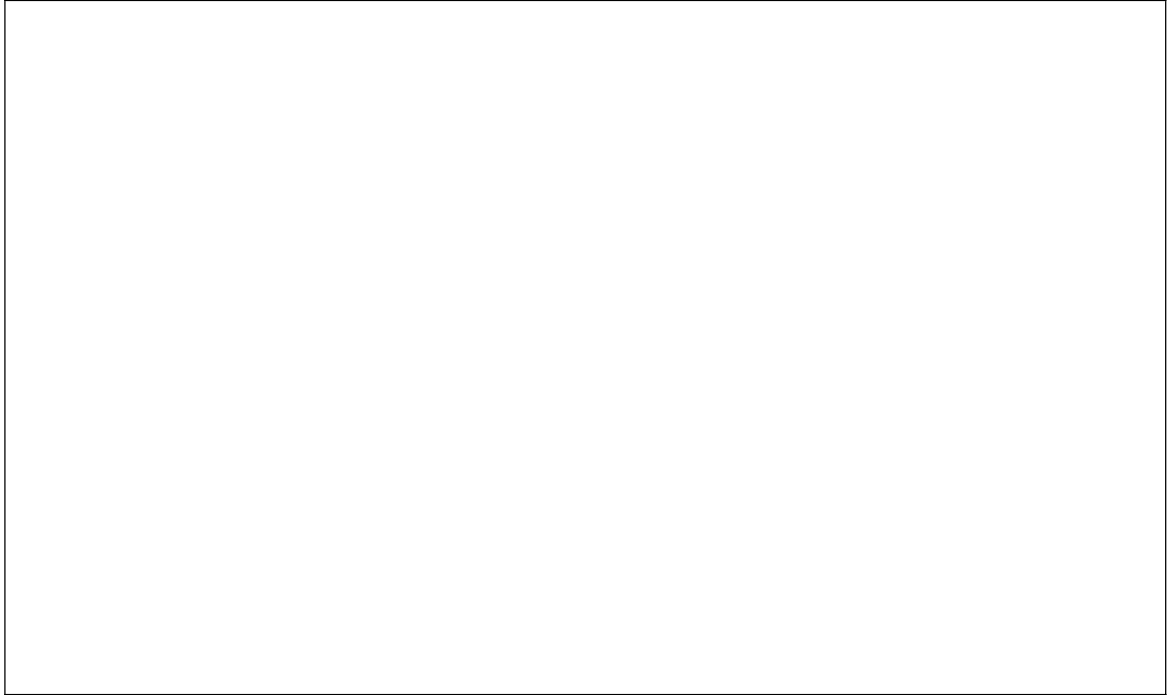
民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
協働する市区町村名	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1. まちづくり 2. 住宅 3. 交通 4. 教育・文化 5. 情報・製品 6. 観光 7. その他 ()
活動・協働内容	

(次ページに続く)

民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
協働する市区町村名	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動・協働内容	
民間団体名	
所在地	〒 電話 ()
協働する市区町村名	
組織・団体の特徴	
活動分野 (はいくつでも)	1.まちづくり 2.住宅 3.交通 4.教育・文化 5.情報・製品 6.観光 7.その他 ()
活動・協働内容	

. その他

問18 その他「バリアフリー化の推進に係る民間団体」の活動や、民間団体との協働についてご意見等がありましたら、ご回答ください。（回答は下欄にご自由にご記入ください。）



<ご協力いただき、誠にありがとうございました>

平成16年度

バリアフリー・ユニバーサルデザインの
推進普及方策に関する調査研究

報告書

発行年月 平成17年1月
発行 内閣府 政策統括官(共生社会政策担当) 付
住所 〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
電話 03-5253-2111
業務委託先 みずほ情報総研株式会社